

永平寺大野道路

永平寺大野道路とは、福井市から永平寺町、勝山市を經由して、大野市に至る延長26.4キロメートルの一般国道自動車専用道路。いわゆる中部縦貫自動車道の福井県内部分を指す。2007年3月17日に永平寺西IC、永平寺東IC間(1.6km)が供用開始となった。区間の事業費は47億円。

- ・下記写真は3月17日開通の1.6km区間(投稿者撮影:2007/3/17)



事業用地は4車線分確保されており、高架橋の橋げたも4車線用で作られているが、交通量や事業費の関係で現在は対面2車線となっている。

付近の地図 by Google Map

by GoogleMap

道路区間

福井北JCT(北陸自動車道) - 福井北IC - 松岡IC - 永平寺西IC - 永平寺東IC - 上志比IC - 勝山IC - 大野IC

永平寺大野道路の沿革

- ・1989年8月8日 永平寺町~大野市2.2km、および和泉村(油坂峠)~岐阜県白鳥町1.1kmが基本計画区間に組入れ。和泉村(油坂峠)~岐阜県白鳥町1.1kmのうち8kmが整備計画区間に組入れ。
- ・1990年11月1日 永平寺町~大野市2.2kmが整備計画区間に、福井市~永平寺町4kmが基本計画区間に組入れ。永平寺西IC~大野IC着工(事業化)
- ・1992年8月11日 福井市~永平寺町3.7kmを都市計画決定

- ・ 1993年度 福井北JCT～永平寺西IC着工（事業化）。なお、越坂トンネル関連区間は、接続する国道416号改築補助事業の一環で昭和60年に一部事業化済み。
- ・ 1993年7月30日 福井市～永平寺町4.0 km が整備計画区間に組入れ。
- ・ 1996年6月1日 松岡IC～永平寺西IC（越坂トンネル区間）1.8 km 供用開始
- ・ 2007年3月17日 永平寺西IC～永平寺東IC 1.6 km 供用開始
- ・ 2009年度 永平寺東IC～勝山IC 9.7 km 供用開始（予定）

永平寺大野道路の開通効果（一部）

近畿地方整備局福井河川工事事務所の交通状況まとめによると、同区間（永平寺西IC - 永平寺東IC）の開通により、永平寺町から福井市までの通勤所要時間が約6分間短縮された。同工事事務所では、整備効果を把握するため、4月から5月の特定日の交通量調査を実施。その結果、同区間を通行した12時間あたりの台数を7100台と算出。その内永平寺大野道路を90%にあたる6500台が利用していた。また、2005年の調査に比べて、同区間は15%交通量が増加していることも判明。ラッシュ時の渋滞が問題となっていた同区間では、最大1000メートルだった渋滞もゼロメートルとなり解消され、整備効果があったとしている。

中部縦貫自動車道

中部縦貫自動車道とは、福井市から岐阜県を通り長野県松本市に至る総延長160キロの一般国道自動車専用道路。一部岐阜県内を東海北陸自動車道と重複している。1987年に閣議決定された第4次全国総合開発計画で、1万4000キロの高規格幹線道路網整備の一つとして計画された。現在、福井県内では、この永平寺大野道路と大野市～岐阜県の油坂道が供用されている。全線開通により、現在、長野県松本市まで5時間以上かかる行程が2時間50分に短縮される。

- ・ [近畿地方整備局福井河川国道事務所のホームページ「ふくい川と道」](#)